

もこもこ のこつて、ありがとうー。

作・演出 泉 寛介

キャスト

もこ子 を含む、その他。  
コココ を含む、その他。

開演。

1

首にリードをつけた女たち、出てくる。

二人で簡単な自己紹介をアドリブでする。

…一人称は必ず「もこ子」。「私は」とは言わない。2人とも、もこ子としてしゃべる。名前は桃野もこ子（モモノ モココ）。モコ・モッコと呼ばれている。モッコリンとも呼ばれているけれど、それは気に入ってない。モコモコって呼ばれるときもあるけど、これはもうあだ名なのかよくわからない。…女は、普段しゃべっているようなトーンで、少し緊張したように客に向けて話す。

簡単な今から行われる話のあらすじを中途半端な敬語で話し始める。

…内容は昔、ペットを飼っていたことを話す。そのペットがだいぶ前に死んでしまったことを話す。そのペットが犬であるのか猫であるのかは話さない。すごくなついていることを話す。ペットの名前はココロ。

…「えーと」「あの一」「なんか」「～みたいな（↑）」「ちよつと」「～てー」「でー」「それでー」「てかー」を多用する。

その説明の中途半端な途中から、不意にシーンに入っていく。

以降、テキストとして台詞はあるが、内容がだいたい伝われば台詞は違ってもよい。途中で演じている役を任意にシヤツフル（配役の交代）することがある。

…（例）それで、えーと、その子というかココロと出会ったていうか出会いみたいなんは、あのちよつとってかだいたいぶつていうか前つていうか、ちよつと昔で、子供のころで、ていうか、で、やったと思うんですけど、それで、小学校に友達がいって、友達ちよつとお金もちの家で友達。だから、それで、飼つてて、それ見せてくれて、ていうか今思つたら見せびらかしに来てて友達つていうか、お金持ちやから飼つてて、何なんそれつて言つたら、ペットで言つて友達、最初、結構大きくてちよつと怖い感じで。怖いくつて、怖くないよつて友達、でもなんかいいなあいなあうらやましいなあとか言つててそう言つたら、そんで、もこ子もペット飼いたいか言つてうらやましいなあつてとか言つてそしたら…「モッコリンも飼つたいやん」…つて言つて私、「モッコリンつて言うんやめて」つて、で、それで「なんで」つてなつて

もこ子　　なんでつていややもん

友達　　いやなんモッコリン

もこ子　　いやや

友達 モッコリン

もこ子 いや

友達 モッコリンー

もこ子 いやや！

友達 モッコリンー

もこ子 やーめてー！やーめてー！やーめてー！やー！やー！やーめてー！いーやー

や！いーやーやー！いやー！いーやー！

もこ子、泣く。

女 とか、泣いちやって

もこ子、泣く。

女 友達

友達 …あ、ごめん。な、泣かんでや。なあ、なあ、ごめん。ごめんって、な！なあ！

ごめん言うてるやん！ごめんって！なあ！モッコリン！

少しの間。

もこ子、泣く。

友達 ごめんってー！ちやうねんちやうねんくせやんくせやんくせやねんもんー。だって、ち

やうねんもんーだって、だってえ…ちやうねん…

女 って泣いて

友達、泣く。もこ子、泣く。友達、泣く。もこ子、泣く。友達、泣く。もこ子、泣く。

女 なんやねんこれ。なんやねん、それ、なんやねんつつって、で、そんとき

二人が泣いていると友達のパットが体をもこ子に体を寄せてくる。友達、泣きやみ。パットの動きに目をやる。もこ子、驚く。泣きやむ。驚く。

もこ子 やわらか！

もこ子、触って、驚く。

もこ子 ふわふわやあ。ふわふわー。ふわふわ、ふわふわしてるー。ふわふ…

もこ子、ペットを撫でて、笑顔になる。

もこ子、急に立ち上がり、どたどた歩く。家中、台所。お母さんにぶらさがる。

もこ子 なあー、なあー。なあー！なあー！なあー！

もこ子、変な踊りを踊りだす。もこ子、お母さんになる。

お母さん うるさい！

もこ子、変な踊りから手をゆっくり下ろす。

もこ子 …まだ。…今からやるもん今からやろう思ってたもん。今、ほんとやで。…

だって、違うもん、ちが…、ちゃんとやるもんでできるもん！なあーなあー！  
なあー…！

もこ子、変な踊りを踊りだす。お母さん、もこ子をはたく。

もこ子、お母さんにはたかれてビクツとなる。

もこ子 はい…！

お母さん あんたさあほんまにちゃんとそだてられんの？飽きたからいうてほっとかれへんねんで？いろいろお金もかかるし時間もかかるし家んなか毛だらけなるで。

好きやからだけでは世話できへんねんで。好きやからってそれなりの努力も必要やし好きでやからっても思い通りにならんこともあるしいろいろあるしいろいろ努力しても長続きせえへんからって環境が違うとか言えへんしそうやってみんな捨てていって…なあ、あんたわかってんの？

もこ子 …わかって…。

もこ子、頭をはたかれる。

女 って感じで、なんか、めっちゃお母さん怒って、めっちゃ怒られて、もこ子、  
ていうか、まあ今思ったら当り前っていうか命の大切さとか、なんか、そういうのわからへんかったというか、おかねかかるし、お母さん大変やしわかるし、もこ子、怒られて、今やったらわかるんやけど、ていうか、まあ、子供やし、もこ子、そのころ、あきらめて、あきらめよみたいな感じででも正直腹た

ってきて、でもあきらめなあかんけどあきらめられへんし、何なん、何でなん  
とか言ってもこ子、何なんってなってもこ子…

もこ子 何なん何なん何なん…！

もこ子、冷蔵庫から、缶ビールをとって飲む。

もこ子 …うえ。うええ。にが。…うえ。うえええ。…うえ。うえええ。

お母さん あんた、何飲んでんの！

もこ子、飲んでるものをゆっくり隠す。

お母さん 何、してんの。ばれてるで。

もこ子 かくして、ないねん。

お母さん 隠してるやん。

もこ子 あ、あ、ある、わあ。

お母さん あるわあちゃうやろ。それ何？

もこ子 …ファンタ。

お母さん ファンタはそんな泡立たへん。

もこ子 あ、あわわ。…いたい！いたい！いたい！ごめんごめんごめん…ごめんなさい…  
う、うう、ううう

もこ子、泣く。

女 ってまたもこ子泣いてもてって思ったら実はこれお母さんやって

もこ子 え、なんで、なんで。なんで。お母さん？何なん、どうしたん？

お母さん、泣く。少しして泣きやむ。お母さん、もこ子から取ったビールを台所に流す。

お母さん …これ古いから、おなかこわしなや。

もこ子 え、うん。

少しの間。

もこ子 お母さん、ごめん。お母さんのビール飲んで。

お母さん お母さん、(鼻をすする)ビール飲まへんよ。(鼻をすする)

女 …いや、別にお父さん死んでるとかそんなんちゃうくて、ただ普通に離婚して

るだけやって、普通に。だから別にあれなんですけど、別にちょっと、ていうか、でも、まあ、ああ、みたいになって、まあ、お母さん。ああ、つてなってるみたいな感じで。ああってなって。ま、そのあとお母さん彼氏おったし。ちよっと変な人やったけど梅木さん、ちよっと。ていうか結構ていうかちよっと変で

女、梅木さんになる。梅木さんはちよっと強面の変な人。やくざではない。すごく力がありそうでも筋肉で片づけようとする人を想像してやる。一人称は僕。

梅木　もこ子ちゃん。

女、自分で梅木さんのものまねが変で笑ってしまう。

梅木　もこ子ちゃん。

女、笑ってしまう。

梅木　もこ子ちゃん。

女、笑ってしまう。

梅木　もこ子ちゃん。

女、笑ってしまう。

梅木　もこ…

女　ていうかまあ、そ、その梅木さんが買ってくれて、ココロを。ペットショップ行ったらしくて。なんか。なんか夜中に。いきなりよつと来て。買ってきたって言って。それで玄関にココロがおって梅木さんのうしろに。おって。

もこ子、舞台上を走りまわる。走り回って疲れる。そのあと、ココロにさわる。

もこ子　ふわふわや…毛え多いなあ。

もこ子、笑顔になる。音楽が鳴る。ダンス。音楽に合わせて、もこ子とココロの生活風景。散歩（もこ子は小学生）、洗おうとして逃げられるところ、散歩（もこ子は中学生）、

フンの処理をするところ、散歩（もこ子は高校生）、二人で駆け回っているところ、へこんで帰ってきたときに励まされるところを表現する。もこ子、散歩する。散歩の途中でリードを離し、高校でできた好きな人の方をぼーっと見る。

音楽、やむ。

もこ子 あ、あのー。…あ、あ、おはようござ、あ、ペット。ペット、ペット。へ、えへへ。早い、早いですですね。…朝、あのガッコあるし、ガッコちよつと間に合う感じで、え、はい。へ、えへへ。…え？はい！来ます！6時に来ます！はい！…いえ、来ます！もう、私、はい！寝ません！あ、寝ます！あ、あ、はい。はい…じゃ、じゃあ。

音楽が鳴る。

もこ子 ぴえー！ぴえ！ぴえ！ぴえー！

おかしな踊り。ダンス。音楽が終わる。

もこ子、リードを持っていないことに気づく。

もこ子 あ、ココロ。

もこ子、振り向く。車のブレーキ音。

もこ子 …え？

長い間。

女 ココロ、死んじゃった。…って思ってた。びっくりして。なんか。でも、まあ全然死んでなくて、普通に家帰ったら先帰ってて、何やそれ！って居て。家に居て。ココロ。なんか大声ですっごいなんか大声で言っちゃってなんやそれって笑って、おなか痛くなるくらい笑ってほんともやめてって感じで。なんか、ほんと、つもー！ココロ！って抱きついてたらなんかポケベル鳴って、

もこ子 あ、ブルってる

女 っって言って

もこ子 ん？

もこ子、ポケベルを見て、病院に電話をかける。

もこ子 …あ、もしもし、あ、あの、桃野、あ、梅木です。なんか電話ほしいって、え？…え。え？あ。はい。…はい。…はい。あ、家、ですけど。あ、消防署の前の、ですか。あ、行け、ますけど。え、あ、はい…。あ、すぐ。はい。すぐ行きます、けど…。あ、はい。

もこ子、電話を切る。

もこ子 え、え、…え？…何それ。

もこ子、あたふたする。もこ子、「えー…？えー…？」と言いながらしゃがんでしまう。

もこ子 (小声で) どうしようどうしようどうしよう…

もこ子、静かに泣く。ココロ、寄ってくる。もこ子、ココロを抱く。少しの間。ぎゅつと抱く。少しの間。もこ子、立ち上がる。ココロ、を床に置く。もこ子、歩き出す。もこ子、走り出す。

音楽が鳴る。

もこ子、走り、立ち止まる。

音楽が止まる。

お母さん、出てくる。

お母さん もこ子。…あんなんちゆう顔してんのん。わっ！

もこ子、お母さんに抱きついて泣く。

もこ子 おかあさんおかあさん、ううおかあさんおかあさんおかあさん…

お母さん うわ顔、汚っ。

お母さん、もこ子の涙をぬぐう。

お母さん あんた昔から泣き虫やな。鼻ずるずるやん

もこ子 おかー(鼻をすする)さ(鼻をすする)あーん(鼻をすすり飲む)…

お母さん 汚。

少しの間。

女 　　って泣きだしちゃって。

女、ハンカチをにおう。

女 　　お母さんのおいする。

女、少し笑う。女、コココとじゃれながら、

女 　　そのあとにはちよつと大したことなくてすぐお母さんも出てきて、すぐ。コココは何にも知らずに尻尾振って。相変わらずもさもさして、もさもさ体揺らして。ていうか、お母さん帰ってくるまではコココいて、ほんと良かったことなくて。梅木さんいたし。寝るときとか、なんか。まあお母さん大しただったかな。ガッコ行って帰ってきて、明日テストやん最悪や何んもしてないけど眠いし寝よ寝よってみたいな感じで、なんか、明日、いややなっというかガッコほんと

地鳴りがする。女、コココを手放す。建物が崩壊する音。女、コココに手を振る。地鳴り、やむ。

女 　　コココ、…どっか行っちゃった。

地鳴りがする。

もこ子、コココを探す。

地鳴りがやむ。

お母さん 　もこ子。ココちゃん、どこ行ったんやろね。

もこ子 　…さあ。どこやろ。あ、新しいの飼う？

もこ子、頬をはたかれる。

もこ子 　…うう、うううう。おかあさーん…

もこ子、お母さんに抱きつく。そのままうずくまる。

もこ子　もう、泣いても寄ってこんかった。何回も泣いたで。泣いてまうねん。なんか、なんかあるたび。私ちよっと、あの、泣き虫やし、涙、なんか出るし、泣いて。いつもやったら、寄ってくるし、なんか、そこにもいそうやし、あそこにもいそうやし、：ほら、こうやったら、おるみたいやん、：ていうか、けどおらへんねんけど。：ほんで、ま、でもあれ、なんか、時間たつたらちよとずつ、なんか慣れてはきて、うん、まあ、あ、そう。私、就職してん。その御堂筋線沿いのビルでなんか面接して働くようになって、お母さんは、あれ梅木さんと一緒に布施に住んでるからあれやけど、私は1人暮らししてて。いろいろ、探してん、ちよっと一人暮らしするところ。ほんまに、なんか。一応、なんか、まあ、なんか、ペット可んところ。

マンションの一室。女、床を足でかきむしる。手で毛を拾う。毛を捨てる。

もこ子　：毛、わさわさしてるやん。なあ、これ掃除してこれなん？新居やろ。：：：そうなんか。すごいな。動物たち。ていうかこれレベルちゃうで。：：：うん。やばい。やばいつて！だまされたー。運送屋め。：：：まあ、うん。そや。：：え？あ、ちゃう、シヤレちゃうもん。

同棲相手、出てくる。

同棲相手　あ、そう。：：：ちよ、なに？え？なにになに？ちよ何泣いてんの？：：モッコリン？え？えー。ちよ、ちよ、え、大丈夫？え、大丈夫か？

もこ子、泣いている。

同棲相手、もこ子の顔をハンカチでぬぐう。もこ子、ハンカチを受け取る。

もこ子、泣きやむ。もこ子、周りを探し出す。

もこ子　おる気がする。：：気がするだけでおらへんやけど。でも、なんか、おる気がする。ていうか、おる感じで考えたらおる感じがする。おらへんけど。なんやろ、見えてへんけど、見えてる、ことはないんやけど、なんか、おったら、それはまた、なんかあれ、あれやけど、でも、これ、気がする、みたいな感じのやつはなんかちよっと、大事な気がする。

もこ子、ふいに立ち上がり、四隅に向かって何かを探す。音楽流れる。

もこ子

名前は桃野もこ子で…モコとかモッコとか呼ばれて…モッコリンって呼ばれるのはいやで…友達ちよっとお金もちの家で友達、最初、結構大きくてちよっと怖い感じで。怖いくって、…

もこ子、じよじよに色々なキャラクターになっていく。

もこ子

…怖くないよって友達、モッコリンーやーめーてー！やーめーてー！やーめーてーやー！やーめーてー！やーめーてー！いーやーやー！いーやーやー！いーやーやー！いーやーやー！いーやーやー！…やわらか！…ふわふわやあ。ふわふわ、ふわふわしてるー。(変な踊りをする) …まだ。…今からやるもん今からやるう思ってるもん。今、ほんとやで。だって、違う…いろいろお金もかかるし時間もかかるし家んなか毛だらけなる、何、してんのん。ばれてるで。かくして、ないねん。隠してるやん。あ、あ、ある、わあ(梅木さん)もこ子ちゃん。ふわふわや…毛え多いなあ…え？はい！来ます！6時に来ます！はい！！いえ、来ます！もう、私、はい！寝ません！あ、寝ます！(小声で) どうしよどうしよどうしよどうしよ…え、大丈夫？え、大丈夫か？もこ子。あんたなんちゆう顔してんのん。おかあさんおかあさん、ううおかあさんおかあさん…え？大丈夫？え、大丈夫か。もこ子。

もこ子、再び、部屋の中を探す。ハンカチを嗅ぐ。

もこ子

お母さんのおいする。な、コココ。な。な。お母さんのおいする。コココ、コココ、コココ、え、大丈夫？え、大丈夫か。もこ子。…コココ、もこ子、コココ、コココ、コココ、コココ…

音楽が止まる。少し大きな毛玉を拾う。じっと見る。

もこ子

やわらか。

ハンカチを落とす。

女

とか言つて。同棲相手はポカンとしとるわ。でもな、もこ子。それ、もこもこしてるやろ。おるで。おるよ。きつと。おるで、私。な、もこ子。

女、いろいろな場所で犬・猫・鳥・魚などの鳴き声をする。音楽が鳴る。じよじよに笑う。

女

って言う話だったんですけど、まあそんな話だったんで、これで終わりになるっていうか終わろうとおもってるんで、えっと、なんか。そんな感じで。まあ、ていうか、そうですね、そうです終わりです。なんか、それだけっていうか、言いたいこと、そんな、はい。終わりです、あ、最後に1シーンだけやるっていうか、やって、まあ、なんか終わりです。はい。

女、去る。女、走って戻ってくる。女、もこ子になり梅木さんの連れてきたココロに触る。

もこ子

…ふわふわや。…毛、多いなあ。

音楽が鳴る。溶暗。もこ子、笑顔。笑う。その演技の途中で演技を解き、普通に礼をする。

おわり